

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：37507

学校名：新陵中学校

改訂のポイント

- 主体的に学習に取り組もうとする学ぶ意欲の向上と学習習慣の定着を図る。
- 互いに考えを伝え合う中で、自らの考えを見直し、粘り強く課題を解決しようとする生徒を育てる。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆自ら課題を見つけ、主体的に解決していくことができる生徒。 ☆他者の考えから学び、学んだ力を活かすことができる生徒。 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の「学び合い」の場面を生かし、自分の考えを発信する力を高める指導の工夫と改善。 ・継続的、計画的な学習指導と、家庭との連携により、生徒の「家庭学習の習慣」づくりを推進する。 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組む生徒の割合が52%→59%、わからないことは自分で調べてはっきりさせようとする生徒の割合も61%→67%と改善した。 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ◇普段から計画を立てて勉強している生徒の割合が31%と低迷している。分かる・できる喜びを生徒自らが実感できる指導法の工夫改善が求められる。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら課題をもち、主体的に解決する「課題探求的な学習」を取り入れた授業づくりを進める。 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒自分の考えがうまく伝わるように話の内容や順序を考える生徒の割合が55%→65%、人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直す生徒の割合も70%→79%と改善した。 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ◇自分の意見を進んで発表する生徒の割合は21%→35%と改善したが、十分とは言えない。授業の中で自らの考えを表現し合い、深める場面を計画的に設けていく必要がある。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が「繰り返し学ぶ」ことを通して、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。 ・少人数指導なども活用しながら、「個に応じた指導」の充実を図る。 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒目標を板書することにより、授業のねらいを明確にできた。勉強で同じ間違いを繰り返さないように気を付けている生徒は80%前後、分からないことは分かるまで努力する生徒は60%前後で推移している。 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ◇新しく学習したことを繰り返し練習する生徒は40%台で低迷。自主的に家庭学習にも取り組めるよう、集会等で保護者へ働きかけ、一層の家庭との連携を進める。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 生徒が主体的に取り組む学習活動の充実と、分かる・できる喜びを実感できる指導の充実 </div>		
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自ら課題をもち、主体的に解決する「課題探求的な学習」を取り入れた授業づくりを進める。 ○生徒同士の「学び合い」の場面を生かし、自分の考えを発信する力を高める指導の工夫と改善を行う。 ○生徒が「繰り返し学ぶ」ことを通して、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。 ○家庭での学習につながる指導の工夫改善と、学校と家庭が一体となった「習慣づくり」「環境づくり」を推進する。 ○少人数指導なども活用しながら、「個に応じた指導」の充実を図る。 		
方法検証の	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査や学力テストの結果、英検I B Aテストの結果、及び学校独自のアンケート調査結果等を活用 ○各教科の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、レポート等の活用） ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）と授業づくりの「6つのセルフチェック」の活用 		